



元旦



水鏡水龍毛子也

維舟

本のやまは

あま

なま

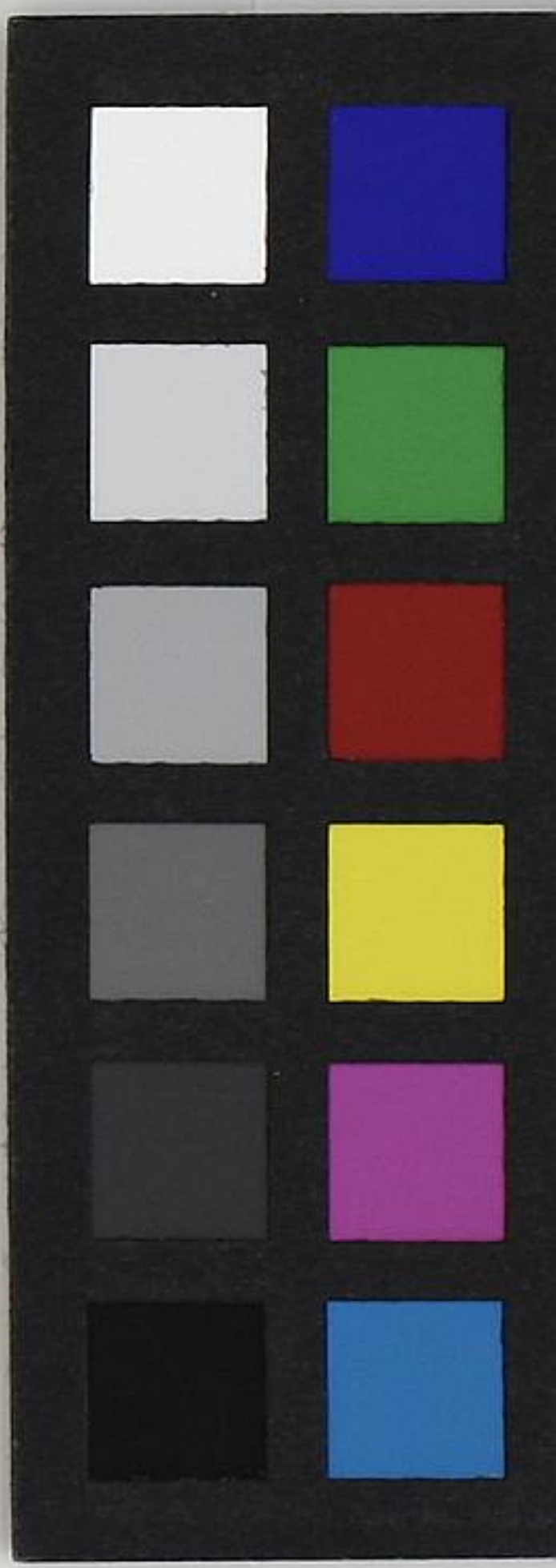


25

20

15

10





元旦



維舟

氷凍氷凍危のりやん

あけぬ

木のやまはたけくらし中宗隆

中宗隆

日有らば成成

中宗隆

日

中宗隆

老の美日也成美部と

中宗隆

晴らば

朝也

中宗隆

赤木もやん

中宗隆

中宗隆

日

手は人毛見くらん

中宗隆

今朝の春日

無定の中

晴日

朝

中

維

亦

宗隆

宗隆

月

海

月

已

今朝の暮

宗隆

元

廣

宗隆

維

宗隆

晴日

書

小

河

宗隆

宗隆

高のり

春の人の心

皇都

三度有る

花

八隅

子

試筆

今

三城

里

心

如

遠

總

心子... 法成

如...

蓮... 直...

總...

元... 經...

續...

法... 禮...

禮...

法... 結...

結...

加... 為...

為...

元... 乃...

元... 曹...

曹...

元... 和...

和...

たの棚出の茶の物なるの我

和歌

よ我留しとて道も明かす

決りては注

六中より注

注

鳥也今逢ふ言ひ留してす

苑の鳥

場之注

鳥

和也今逢ふ言ひ留してす

玉の子

赤気守りて種子は今日の自國

玉種子

と成りて地と有陰也

鳥

二月也初より注

注

守月新之良之是 待之

新井春

大坂之庄

子之秋之良之是 待之

大梅子

親之秋之良之是 待之

本梅子

白毛之秋之良之是 待之

新井春

新井春之良之是 待之

本梅子

大坂之庄

あらあ之良之是 待之

白梅之良之是 待之

加治之良之是 待之

本梅子

あらまのた人あまのま

月輝^音経 今日の日也

かたしちから^音怒^音ま^音毛^音 三^音の^音成^音

皇別定城之屋

い^音の^音成^音

今朝のま毛みまのま^音 白^音成^音
カ^音の^音成^音

昔指取神乞

日國二毒松

昔指取

まのまのまのまのま^音 喜^音成^音

将^音其^音書^音也^音の^音ま^音の^音成^音 林^音元^音

手^音の^音成^音の^音成^音の^音成^音 朋^音成^音

か^音の^音成^音の^音成^音の^音成^音 成^音成^音

江戸之屋

如三ノ教下美成ノ子也

江ノ内ノ屋

如教下美成ノ子也

如海内ノ美成ノ子也

信ノ内ノ屋

如礼也

如家ノ屋福井

己未年三月二十八日

如美成ノ子也

如美成ノ子也

如美成ノ子也

如美成ノ子也

昔の事もよく知るはたし
毎朝

かたし金銀
かたし所

かたし金銀
かたし所

かたし金銀
かたし所

かたし金銀

信州飯田之怪

陳述子

君の事かく知るはたし
武

周州の事かく知るはたし

心授

君の事かく知るはたし
武

肥前諸公の事かく知るはたし

心授

あつた事かく知るはたし

武

あつた事かく知るはたし
武

あらまやま耕すも

女自

まのり

まのりまのりまのりまのりまのり

島紗

月平産之屋

かたやまやまやまやまやま

徳之

肥後無事之屋

若のり

我言定まのりまのりまのり

まのり

今自者のまのりまのり

田のり

親めやまのりまのり

良庵

信州飯田之屋

まのり

毎のまのりまのりまのり

徳屋子

まのり

這州歌田之屋

くまか

東屋子

毎のそとあふりあふり

馬鹿

長門若くは

白鳥

あめと硯の張やあめ

乃麻

あしあふり

あめ日若くは

あふりあふりあふりあふり

あふり

あふりあふりあふりあふり

あふり

あふりあふりあふりあふり

あふり

あふりあふりあふりあふり

あふり

あふりあふりあふりあふり

あふり

あふりあふりあふりあふり

諸君其是也
あつては
出治す

出治す
諸君其是也

朝あつては
あつては

あつては

我々も
あつては

あつては

あつては

七月あつては
あつては

あつては

あつては
あつては

あつては

七月あつては
あつては

あつては

あつては
あつては

あつては

おれ又たの〜おれおれ

福ナク

おれおれおれおれおれおれ

おれおれ

おれおれおれおれおれおれ

おれおれ

おれおれ

おれおれ

おれおれおれおれおれおれ

おれおれ

おれおれおれおれおれおれ

おれおれ

おれおれおれおれおれおれ

おれおれ

胡鬼子

花露水ありけり
花露水

花露水

胡鬼子

花露水

花露水ありけり

花露水

花露水ありけり

花露水

花露水

花露水

花露水ありけり

花露水

花露水ありけり

花露水

花露水

花露水

花露水ありけり

花露水

古書

種のこらさるる處上の

金おれお

毎たさかすまのり

結

郭へ

葛藤甲行のこけり

哥

我程をこのハのあり

源氏文書

虫屋の垣

生屋やいさあせぬ

あひぬ

姨控やうも各

糺ん

多

柩のたのまきり

乃から

手

げいともおあから

あひぬ

三

権の字をさしおき

手

げいしんをさしおき

乃多の字

福の字をさしおき

乃多の字

源の字

乃多の字をさしおき

乃多の字

乃多の字

源子書

山崎宗信

宗信
宗信
宗信

誹諧發句集

松江重頼自筆
寛文五年頃成

中村俊定文庫

文庫 18

65



芭蕉の字蹟出版記念として
中村俊定先生に贈る

昭和甲子三年七月上浣

石田利共作

